

臨床疫学研究室

室長 三田英治

臨床疫学研究室は主に消化器疾患の特徴を分子疫学面から検証し、最適な治療方法や安全性を検討しています。代表的な研究内容を示します。

C型肝炎に関しては、ペグインターフェロン・リバビリン併用療法で治療効果を規定した IL-28B の SNP が引き続きインターフェロンフリー治療でも重要な意味を持つかを検討しています。また心機能低下や腎機能低下症例に対する抗 HCV 療法の安全性を調査しています。HIV 感染合併例でのインターフェロンフリー治療の成績もまとめており、抗レトロウイルス治療との薬物相互作用も検討しています。

次に B 型肝炎では、核酸アナログの長期投与成績から導かれる耐性化の問題点を検討しています。そして、ラミブジン・アデホビル併用療法効果不良例に対し、アデホビルをテノホビルに切り替えることの有効性を明らかにしました。近年散発的に発生している B 型急性肝炎では genotype A が大半を占めていますが、その特徴を解析し、慢性化への関与についても検討しています。

【2014 年度研究発表業績】

A-0

Oze T, Hiramatsu N, Yakushijin T, Miyazaki M, Iio S, Oshita M, Hagiwara H, Mita E, Inui Y, Hijioka T, Inada M, Tamura S, Yoshihara H, Inoue A, Imai Y, Miyagi T, Yoshida Y, Tatsumi T, Kanto T, Kasahara A, Hayashi N, Takehara T. Using early viral kinetics to predict antiviral outcome in response-guided pegylated interferon plus ribavirin therapy among patients with hepatitis C virus genotype 1. *J Gastroenterol.* 2014 Apr;49(4):737-47 (2014 年 4 月)

Harada N, Hiramatsu N, Oze T, Morishita N, Yamada R, Hikita H, Miyazaki M, Yakushijin T, Miyagi T, Yoshida Y, Tatsumi T, Kanto T, Kasahara A, Oshita M, Mita E, Hagiwara H, Inui Y, Katayama K, Tamura S, Yoshihara H, Imai Y, Inoue A, Hayashi N, Takehara T. Risk factors for hepatocellular carcinoma in hepatitis C patients with normal alanine aminotransferase treated with pegylated interferon and ribavirin. *J Viral Hepat.* 2014 May;21(5):357-65 (2014 年 5 月)

Oze T, Hiramatsu N, Yakushijin T, Miyazaki M, Yamada A, Oshita M, Hagiwara H, Mita E, Ito T, Fukui H, Inui Y, Hijioka T, Inada M, Katayama K, Tamura S, Yoshihara H, Inoue A, Imai Y, Hayashi E, Kato M, Miyagi T, Yoshida Y, Tatsumi T, Kasahara A, Hamasaki T, Hayashi N, Takehara T; Osaka Liver Forum. Post-treatment levels of α -fetoprotein predict incidence of hepatocellular carcinoma after interferon therapy. *Clin Gastroenterol Hepatol.* 2014 Jul;12(7):1186-95 (2014 年 7 月)

Hasegawa H, Fujitani K, Nakazuru S, Hirao M, Mita E, Tsujinaka T. Optimal Treatment Change Criteria for Advanced Gastric Cancer with Non-measurable Peritoneal Metastasis:symptom/tumor marker-based or CT-based. *Anticancer Research* 2014;34 (9):5169-5174 (2014年9月)

Yajima K, Uehira T, Otera H, Koizumi Y, Watanabe D, Kodama Y, Kuzushita N, Nishida Y, Mita E, Mano M, Shirasaka T. A case of non-cirrhotic portal hypertension associated with anti-retroviral therapy in a Japanese patient with human immunodeficiency virus infection. *J Infect Chemother*. 2014 Sep;20(9):582-5.

Ishida H, Sakane S, Toyama T, Fukutomi K, Kimura K, Sugimoto A, Hibino K, Tamura T, Iwasaki T, Iwasaki R, Hasegawa H, Sakakibara Y, Yamada T, Nakazuru S, Mita E. Administration of low-dose epoetin-alpha facilitates adherence to ribavirin in triple therapy with pegylated interferon-alpha-2b and telaprevir. *Hepatology Research* 2014;44(10):E84-91 (2014年10月)

Oze T, Hiramatsu N, Yakushijin T, Yamada R, Harada N, Morishita N, Oshita M, Mita E, Ito T, Inui Y, Inada M, Tamura S, Yoshihara H, Imai Y, Kato M, Miyagi T, Yoshida Y, Tatsumi T, Kasahara A, Hayashi N, Takehara T. The real impact of telaprevir dosage on the antiviral and side effects of telaprevir, pegylated interferon and ribavirin therapy for chronic hepatitis C patients with HCV genotype 1. *J Viral Hepat*. 2015;22(3):254-262 (2015年3月)

B-2

Nakazuru S, Matsumura Y, Harada Y, Iwasaki R, Iwasaki T, Nishio K, Hasegawa H, Sakakibara Y, Yamada T, Nishikawa K, Ishida H, Mori K, Mita E. Simultaneous Large Cell Neuroendocrine Carcinoma and Adenocarcinoma of the Stomach: A Case Report and Literature Review. 12th European Neuroendocrine Tumor Society Annual Conference, Barcelona, Spain, 2015年3月

Hasegawa H, Fujitani K, Sugimoto A, Nakazuru S, Hirao M, Tsujinaka T, Mita E. Optimal indications for palliative chemotherapy in elderly patients with metastatic or recurrent gastric cancer. American society of clinical oncology Gastrointestinal Cancers Symposium 2015, San Francisco, USA, 2015年1月

Iwasaki T, Yamada T, Fukutomi K, Kimura K, Sugimoto A, Hibino K, Sakane S, Tamura T, Iwasaki R, Hasegawa H, Sakakibara Y, Toyama T, Nakazuru S, Ishida H, Mita E : Endoscopic submucosal dissection for elderly individuals with early gastric cancer. DDW 2014,Chicago,

USA, 2014 年 5 月

B-3

石田 永、外山 隆、三田英治：HCV/HIV 共感染者に対するペグインターフェロン/リ
バビリン併用療法の治療成績。第 50 回日本肝臓学会総会、東京、2014 年 5 月

三田英治：治療継続患者における注意点と TDF の役割。第 40 回日本肝臓学会東部会 ラ
ンチョンセミナー7、東京、2014 年 11 月

三田英治：高ストレス社会における職域肝疾患の管理 ～脂肪肝から、ウイルス性肝炎
まで～。第 22 回日本産業ストレス学会 ランチョンセミナー、大阪、2014 年 11 月

三田英治：性感染症としてのウイルス性肝炎。日本性感染症学会第 27 回学術大会 招
請講演 2、神戸、2014 年 12 月

B-4

中水流正一、福富啓祐、日比野賢嗣、杉本 彩、木村圭一、田村 猛、坂根貞嗣、岩崎
哲也、岩崎竜一郎、長谷川裕子、榊原祐子、山田拓哉、外山 隆、石田 永、池田弘
和、児玉良典、三田英治：濾胞性リンパ腫と大腸癌の同時性重複癌の 2 例。第 87 回日
本消化器内視鏡学会総会、福岡、2014 年 5 月

中水流正一、山田拓哉、浅岡忠史、宮本敦史、中森正二、三田英治：80 歳以上の高齢
者切除不能膵癌における化学療法の検討。第 45 回日本膵臓学会大会、北九州、2014
年 7 月

榊原祐子、中川健太郎、松村雄一郎、福富啓祐、杉本彩、木村圭一、日比野賢嗣、岩
崎哲也、岩崎竜一郎、西尾公美子、長谷川裕子、山田拓哉、中水流正一、石田永、三
田英治、矢嶋敬史郎、上平朝子、白阪琢磨：HIV 感染者に合併した消化管サイトメガ
ロウイルス感染症の検討。JDDW2014、神戸、2014 年 10 月

榊原祐子、福富啓祐、日比野賢嗣、杉本彩、木村圭一、坂根貞嗣、田村猛、岩崎竜一
郎、岩崎哲也、長谷川裕子、山田拓哉、中水流正一、外山隆、石田永、三田英治：当
科での難治性潰瘍性大腸炎におけるタクロリムス及びインフリキシマブによる治療成
績の検討。第 100 回日本消化器病学会総会、東京、2014 年 4 月

榊原祐子、福富啓祐、日比野賢嗣、杉本彩、木村圭一、坂根貞嗣、田村猛、岩崎竜一
郎、岩崎哲也、長谷川裕子、山田拓哉、中水流正一、外山隆、石田永、三田英治：下

部消化管内視鏡検査で指摘された HIV 感染者における尖圭コンジローマの検討。第 87 回日本消化器内視鏡学会総会、福岡、2014 年 5 月

長谷川裕子、福富啓祐、杉本彩、木村圭一、日比野賢嗣、岩崎哲也、岩崎竜一郎、榊原 祐子、山田拓哉、中水流正一、石田永、関本貢嗣、三田英治：切除不能進行大腸がんに対する一次治療としての Capecitabine+Bevacizumab 併用療法。日本消化器関連学会、神戸、2014 年 10 月

杉本 彩、中水流正一、福富啓祐、日比野賢嗣、木村圭一、田村 猛、坂根貞嗣、岩崎哲也、岩崎竜一郎、長谷川裕子、榊原祐子、山田拓哉、外山 隆、石田 永、小川吉彦、矢嶋敬史郎、上平朝子、児玉良典、三田英治：肝生検で診断された AIDS 関連パーキットリンパ腫の 2 例。第 100 回日本消化器病学会総会、東京、2014 年 4 月

杉本 彩、山田拓哉、福富啓祐、木村圭一、日比野賢嗣、坂根貞嗣、田村 猛、岩崎哲也、岩崎竜一郎、長谷川裕子、榊原祐子、外山 隆、中水流正一、石田 永、上平朝子、森 清、三田英治：HIV 感染者に発症した消化管カポジ肉腫に対する内視鏡的診断と病理組織診断との検討。第 87 回日本消化器内視鏡学会総会、福岡、2014 年 5 月

杉本 彩、中水流正一、岩崎竜一郎、長谷川裕子、榊原祐子、山田拓哉、矢嶋敬史郎、上平朝子、森 清、三田英治：化学放射線療法で完全奏効を得た HIV 感染合併肛門管扁平上皮癌の 1 例。第 12 回日本臨床腫瘍学会学術集会、福岡、2014 年 7 月

杉本 彩、長谷川裕子、福富啓祐、木村圭一、日比野賢嗣、岩崎哲也、岩崎竜一郎、榊原祐子、山田拓哉、中水流正一、石田 永、平尾素宏、三田英治：高齢者切除不能進行・再発胃癌に対する化学療法における予後因子解析。第 52 回日本癌治療学会学術集会、横浜、2014 年 8 月

杉本 彩、中水流正一、岩崎哲也、岩崎竜一郎、西尾公美子、長谷川裕子、榊原祐子、山田拓哉、石田 永、浅岡忠史、宮本敦史、中森正二、三田英治：肝内胆管癌と肝細胞癌の異時性重複癌症例の検討。第 50 回日本胆道学会学術集会、東京、2014 年 9 月

杉本 彩、山田拓哉、福富啓祐、木村圭一、日比野賢嗣、岩崎哲也、岩崎竜一郎、長谷川裕子、榊原祐子、中水流正一、石田 永、上平朝子、森 清、三田英治：HIV 感染者に発症した消化管カポジ肉腫に対する肉眼型診断と病理組織診断との検討。第 56 回日本消化器病学会大会、神戸、2014 年 10 月

日比野賢嗣、中水流正一、福富啓祐、杉本彩、木村圭一、田村猛、坂根貞嗣、岩崎哲

也、岩崎竜一郎、長谷川裕子、榊原祐子、山田拓哉、外山隆、石田永、浅岡忠史、宮本敦史、中森正二、三田英治：当院における胆道癌の重複癌の検討。第100回日本消化器病学会総会、東京、2014年4月。

木村圭一、中水流正一、岩崎竜一郎、長谷川裕子、榊原祐子、山田拓哉、石田永、多田雄真、森清、三田英治：胆嚢原発大細胞型神経内分泌癌の1例 第12回日本臨床腫瘍学会総会、福岡、2014年7月

木村圭一、山田拓哉、榊原祐子、原口直紹、三宅正和、宮崎道彦、池田正孝、関本貢嗣、三田英治：当院における大腸SM癌に対する治療後経過の検討 第69回日本大腸肛門病学会、横浜、2014年11月

三田英治：司会、セッション15 C型肝炎・臨床2 第50回日本肝臓学会総会、東京、2014年5月

三田英治：司会、一般演題（口演）20 腫瘍マーカー 第50回日本肝癌研究会、京都、2014年6月

B-5

山田拓哉、平尾素宏、三田英治：当院におけるBarrett食道癌症例の検討。日本消化器内視鏡学会近畿支部第92回支部例会、大阪、2014年6月

榊原祐子、山田拓哉、中水流正一、三田英治：HIV感染者に合併した消化管サイトメガロウイルス感染症の検討。第92回日本消化器内視鏡学会近畿支部例会、大阪、2014年6月

西尾公美子、石田永、三田英治：核酸アナログ反応不良例および耐性化例に対するテノホビルの当院における治療成績、日本消化器病学会近畿支部第102回支部例会、京都、2015年2月

岩崎竜一郎、山田拓哉、三田英治：当院における消化管粘膜下腫瘍に対するEUS-FNAの成績。日本消化器内視鏡学会近畿支部 第92回支部例会、大阪、2014年6月

岩崎竜一郎、山田拓哉、三田英治：当院における胃腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)の偶発症の検討、本消化器内視鏡学会近畿支部 第92回支部例会、大阪、2014年11月

岩崎竜一朗、山田拓哉、福富啓祐、杉本彩、木村圭一、日比野賢嗣、田村猛、坂根貞嗣、岩崎哲也、長谷川裕子、榊原祐子、中水流正一、外山隆、石田永、三田英治：
Verification of endoscopic submucosal dissection for early gastric cancer with HIV infection
(HIV 感染者における早期胃癌 ESD の検討)。第 87 回 日本消化器内視鏡学会総
会、福岡、2014 年 5 月

木村圭一、榊原祐子、中川健太郎、松村雄一朗、福富啓祐、杉本彩、日比野賢嗣、
岩崎哲也、岩崎竜一朗、西尾公美子、長谷川裕子、山田拓哉、中水流正一、石田永、
三田英治：十二指腸癌を合併したクローン病の 1 例。第 93 回日本消化器内視鏡学会近
畿支部第支部例会、大阪、2014 年 11 月

清田良介、日比野賢嗣、長谷川裕子、西尾久美子、榊原祐子、山田拓哉、中水流正
一、石田永、白阪琢磨、三田英治：化学放射線療法により完全寛解が得られた HIV 感
染合併進行食道癌の 1 例。第 205 回日本内科学会近畿地方会、大阪、2014 年 9 月。

野添亜希子、西尾公美子、長谷川裕子、榊原祐子、山田拓哉、中水流正一、石田永、
三田英治、児玉良典、川端浩。瀉血の効果を経時的に肝組織で検討できたヘモクロマ
トーシスの 1 例。第 205 回日本内科学会近畿地方会、大阪、2014 年 9 月。

B-8

三田英治：CROI、EASL レポート前編。肝臓専門医育成プロジェクト 平成 26 年度 第
1 回勉強会、大阪、2014 年 4 月

三田英治：B 型肝炎 最新の話。第 13 回吹田消化器カンファレンス、吹田、2014 年
5 月

三田英治：最新の肝炎治療。赤垣クリニック治験審査委員会 100 回記念講演、大阪、2014
年 6 月

三田英治：消化器のがんにならないためにできること。日本消化器病学会近畿支部 第
51 回市民公開講座、吹田、2014 年 5 月

三田英治：B 型肝炎の最新治療。HBV infection Forum in Mie、津、2014 年 6 月

三田英治：HIV とウイルス性肝炎—治療の最前線—。Japan HIV and Hepatitis Study Group
(JHSG) 講演会、東京、2014 年 6 月

三田英治：司会、肝癌治療の今後を考える。大阪、2014年6月

三田英治：司会、肝臓専門医育成プロジェクト 平成26年度第2回勉強会、大阪、2014年7月

三田英治：B型肝炎と核酸アナログ治療。定期情報誌「Expert Opinion on Hepatitis B」18号掲載座談会、東京、2014年7月

三田英治：C型肝炎の新規治療。大阪市中央区南医師会学術講演会、大阪心斎橋、2014年9月

三田英治：C型肝炎の新規治療。中央区東・南薬剤師研修会、大阪、2014年10月

三田英治：最新のC型肝炎診療。大阪市肝炎連携講演会、大阪、2014年10月

三田英治：C型肝炎の新規治療。北区薬剤師会生涯研修会、大阪、2014年10月

三田英治：B型・C型肝炎の新規治療。肝疾患地域連携会、大阪、2014年11月

三田英治：HCV NS3 および NS5A 変異に関する検討。肝臓専門医育成プロジェクト 平成26年度第3回勉強会、大阪、2014年12月

三田英治：C型肝炎の新規治療。大阪市中央区東医師会学術講習会、大阪、2015年3月

B-9

三田英治：B型肝炎の最新治療～適正使用の観点より～。B型肝炎 Live Meeting、大阪、2014年11月

三田英治：GSK B型慢性肝疾患治療 Webinar、株式会社フルフィルパングスタジオ大阪、2015年2月

三田英治：肝臓の病気 進化する肝炎の最新治療 おはよう！ドクター#17、読売テレビ、2014年8月

三田英治：肝がん 新しい検査から最新治療まで おはよう！ドクター#18、読売テレビ、2014年8月